

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



南外地域での市政懇談会の様子

多くの皆さまのご参加をいただきありがとうございました。

質問を受ける議員団も少し緊張しています。

来年も実施いたしますので、参加をお待ちしています。

内 容

CONTENTS

■ 第2回定例会の概要	2
■ 一般質問	4
■ 委員会審査のあらまし	9
■ 主な議会のうごき	10
■ 政務活動費の報告	11
■ 所管事務調査	12
■ 市民の声 ほか	14

第2回定例会



本会議4日目 起立採決

第2回定例会は、5月24日（火）から6月14日（火）までの22日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の市政報告が行われたほか、市当局提出の人事案2件に同意、単行案1件、補正予算案1件を原案可決しました。

本会議2日目・3日目の一般質問では、9人の議員が市政全般について、市当局に質問しました。

また、本会議4日目には、条例案3件、単行案4件、補正予算案3件をそれぞれ原案可決したほか、陳情2件を採択し、意見書案2件を原案可決しました。

※第2回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます。



各QRコードから録画中継
(大仙市議会YouTubeチャンネル)に
アクセスできます。

人事案

▼教育委員会委員の任命について

【全会一致で同意】

小笠原晃氏（西仙北地域・新任）

▼固定資産評価員の選任について

【全会一致で同意】

今野功成氏（南外地域・新任）

条例案

▼大仙市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

ふるさと納税による寄附金を原資とする本基金において、自然災害や今般のウクライナ情勢など、特別な事情により支援を必要とされている方を支援する場合においても、本基金を充当できるよう改めるものです。

単行案

▼財産の処分について

【全会一致で可決】

大曲企業団地用地について、第1期造成分の4区画のうち、3区画を1億7476万3288円で売却するものです。

補正予算案

▼令和4年度大仙市一般会計補正予算(第2・3回)

【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ13億1895万5千円を追加し、補正後の総額は448億9921万7千円となりました。

主なもの

- 畜産業費補助金（市内に新たに畜舎等を整備する経営体に対する補助金） 1000万円
- プレミアム付地域商品券発行事業費（市独自のプレミアム率40パーセントの商品券発行事業経費） 3億2605万9千円
- 多目的人工芝グラウンド整備事業費（更衣室・会議室等を完備した管理棟の建築工事費） 8272万1千円
- 四ツ屋公民館改築事業費（令和4年度分の工事費） 6917万6千円

こちらから
本会議資料
(大仙市ホームページの
議会のページ)
にアクセス
できます。



陳情

▼国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

【賛成多数で採択】

【反対討論】

佐藤 文子 議員（日本共産党）

「海の日」の固定化は「海の日」を7月20日としたその由来や時代に思いをはせる超党派の国会議員が議員立法として提案し、成立を図るためのものであり、市民・国民要求に基づいたものではないこと。

また、国連総会で6月8日を「世界海の日」と定め、国連や関係国で記念行事が開催され、日本でもハッピーマンデーの「海の日」にはさまざまなイベントが行われているにもかかわらず、固定化しようとする狙いに、7月20日を「海の日」とした由来である明治天皇とその時代を礼賛し、国民への浸透を図ろうとしているように思えてならない。

さらに、ハッピーマンデー化が定着し、「海の日」固定化に対しては、観光業界などからの反対も多いと伺っていることから反対する。

【賛成討論】

秩父 博樹 議員（公明党）

「海の日」は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として制定されたことを顧み、7月20日に固定化されれば、「海の日」関連行事の位置付けが明確となり、国民の目が毎年必ず海に向けられる。

また、多くの公立学校が夏休みの開始日を7月21日としており、固定化により夏休みと絡めての連休効果もある。

さらに、重要なのは未来志向の観点から、陳情にもあるとおり、地球環境問題において、今ほど「海」がクローズアップされている時代はないという点である。私たちの子孫が豊かに暮らしていける持続可能な環境を展望し、未来志向の観点からも固定化する意義の重要性について申し上げ、賛成討論とする。

意見書

【全会一致で採択】

▼教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

▼国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

【賛成多数で可決】

▼教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書

【全会一致で可決】



第2回定例会賛否一覧

議案等名	議決結果	大地の会					だいせんの会					新政会			公明党		国民	日本共産党								
		鎌田 正	金谷 道男	大山 利吉	佐藤 育男	後藤 健	山谷 喜元	安達 成年	青柳 友哉	高橋 敏英	佐藤 芳雄	古谷 武美	石塚 柏	橋村 誠	高橋 徳久	戸嶋貴美子	渡邊 秀俊	小松 栄治	小笠原昌作	橋本 琢史	本間 輝男	秩父 博樹	挽野 利恵	佐藤 隆盛	佐藤 文子	
陳情第7号 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
意見書案第5号 国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

賛成者は○、反対者は●とします。議長は採決に加わりません。

第2回臨時会

第2回臨時会が4月15日に招集され、市当局提出の専決処分報告3件を承認、補正予算案1件を原案可決しました。

▼令和4年度大仙市一般会計補正予算（第1号）【全会一致で可決】

主なもの

- 飲食店等経営支援事業費（売上減少率20パーセント以上の事業所に対する支援金等） 1億4536万4千円
- コンベンション施設運営支援事業費（大規模な会議場を有する複合施設への支援金） 5478万5千円
- 宿泊業等支援事業費（売上減少率20パーセント以上の市内宿泊業者に対し、施設の固定経費相当額の支援金） 910万円
- 「全国へ届け大仙の味」特産品発送支援事業費（市観光物産協会へ委託する経費） 671万円
- 社会教育施設災害復旧事業費（角間川地区の旧地主屋敷群の旧北島家、旧荒川家住宅の雪害復旧経費等） 168万8千円





秩父 博樹 議員
(公明党)



Q 帯状疱疹ほうしんの罹患者りかんを
1人でも少なくしたい

A 予防接種の体制整備に
努めていく

質問 帯状疱疹ワクチンの予防接種について助成制度を設け、ワクチンがあることを市民に周知し、罹患者を1人でも少なくしたいと考えるが。

市長 予防接種法に基づき国が接種勧奨している定期接種とは異なり、個人が接種をするかどうかを選択する任意接種であることや、接種後に全身の倦怠感などの副反応が出る場合もあること、また、国の厚生科学審議会が定期接種化の議論が進んでおらず、現在は助成制度を設けていない状況にある。

しかしながら、新型コロナウイルスに感染した方は、帯状疱疹に罹患するリスクが高い傾向にあることや、80歳までに3人に1人が帯状疱疹を発

症し、帯状疱疹後神経痛や顔面神経まひなどの重い合併症により、日常生活に支障を来す方が一定数おられることが公表され、問い合わせも増えている状況にある。

また、昨年度の大仙市医療行政連絡会で、大曲仙北医師会からは、帯状疱疹は初期の診断が難しく、初期に処方する抗ウイルス薬も高額であることから、帯状疱疹の予防に効果があるワクチン接種の推奨と助成を検討していただきたい旨の要望をいただいた。

こうしたことを踏まえ、帯状疱疹ワクチンの予防接種の助成制度等の構築に向けて、今後、大曲仙北医師会と協議を行うとともに、市民へ予防接種の有効性と安全性等を周知するなど、帯状疱疹ワクチンの予防接種の体制整備に努めていく。



○この他、「大仙市ゼロカーボンシティ宣言」の表明に伴った二酸化炭素排出抑制の実効性強化について、学校給食について質問しました。



青柳 友哉 議員
(大地の会)



Q 保育施設の空き状況を
定期的に公表できないか

A 市ホームページでの情報
提供を7月をめどに開始

質問 年度途中から子どもを保育施設に預けようとする保護者のために、市内の保育施設の空き状況を定期的に公表しては。

今野副市長 市は、毎月、市内の保育施設から利用可能な園児数の報告を受けている。これを活用し、7月をめどに、保育施設の空き状況に関する情報を市のホームページ等で提供していく。

質問 大仙市では0歳児保育の利用申し込みは出産後に限られているが、秋田市では妊娠中の仮申し込みができる。当市で、妊娠中の利用申し込みや仮申し込みを可能にできないのか。

今野副市長 これまで二つの理由から妊娠中の申し込みや仮申し込みを受け付けてこなかった。第一の理由は、保育施設の利用認定は保育の必要性を判断して認定するため、子どもの健康状態や家庭状況を確認することが欠かせないからである。

もう一つは、保育施設の経営に負担が掛かることが予測されるからである。保育施設は利用者数に応じて保育料や給付費を得ているため、仮申し込みに応じて受け入れ枠を確保すると、入所までの期間はその分の収入を得られなくなってしまう。しかし、毎年11月に実施している翌年度に向けた一斉申し込みについては、妊娠中の方も「4月1日の時点で産後8週が経過し、かつ復職している」場合には仮申し込みが可能となるように検討していきたい。

◆DX推進の状況について

質問 デジタル専門人材の確保の状況を伺う。

佐藤副市長 国と県のDX推進アドバイザーを務めている方を非常勤のCIO補佐官として登用した。CIO補佐官の業務内容は、DX推進の企画・構想やDX人材の育成等への助言である。

質問 DX推進により削減された業務はあるか。

佐藤副市長 税や子育て支援に関する四つの業務を対象に、パソコン上の入力作業を自動化するソフトウェアを導入し、令和3年度は合計244時間を削減した（削減率は80.5パーセント）。また、保育施設の利用調整業務にAIを導入し、担当者の時間外勤務が35時間から0時間となった。



戸嶋 貴美子 議員
(だいせん会の会)



Q 医療福祉施設従事者に市から
労災への支援を希望したい

A 処遇改善のため、国に
働き掛けてまいりたい

議長より許可をいただき、手話を交えて質問をしております。

質問 これまで介護福祉士として15年勤務したが、今、医療福祉保育の現場は担い手不足・人員不足が深刻であり、想像を絶するほど^{ひっばく}逼迫し、疲弊している状況である。従事者は今も腰痛等で苦しみ、自己負担で治療をし、治らなければ離職を余儀なくされている。

このような状態を黙って見過ごしてもよいものか。75歳以上の市民に^{はりきゅうしんきゅう}鍼灸鍼灸院の割引券や温泉券を渡している中、半分も使われていないことを市から伺っている。質の良いサービスを行うためにも、ぜひ、その半分以上を現場で活躍している医療福祉従事者に支援していただけないか。

社会福祉施設での労災発生件数が来年には建設業を越すことが確実とみられている。私が15年間介護施設で働いていた間、労働局はもちろん労働基準監督署の話題は一度も聞くこともなく、介護事業所の職員から介護労働のパンフレットを渡されて終わっている。秋田県では労災等に関する担当部署はない。もちろん市区町村も扱っていない。労働災害は、国家公務員のみが扱うのが結論である。国と福祉現場では大変に距離がある。さらなる大仙市の超高齢化社会に備え、今までやってこなかった福祉分野に積極的に取り組む考えはあるか。

「大仙市の社会福祉従事者にぜひなりたい!」
と思える環境であることを切にお願いしたい。

今野副市長 社会福祉施設等の労働災害については、市が主体となり取り組むべきではないと認識している。しかしながら、市としても、さらなる処遇改善について、各種事業の実施のほか、全国市長会等を通じて国に働き掛けていきたいと考えている。



高橋 徳久 議員
(だいせん会の会)



Q 休校等に伴い、
夏休みに影響はあるのか

A 現時点で短縮する対応は
想定していない

質問 多くの子どもたちが新型コロナウイルスに感染し、それに伴って学級・学年閉鎖が実施されている。学校の学習対策はどのようになっているのか。また、タブレットを活用してリモート授業をやっているのか。

教育委員会事務局長 習慣化している家庭学習に加えて、学習プリントを配付したり、教材として購入済みのドリルを活用した課題を出したりしている。

オンライン授業は、通常と違う授業準備が必要となることや担当職員が自宅待機となった場合の対応など、直ちに実施することが難しい状況にある。その中でも、オンラインで担任と児童生徒が健康観察を行ったり、時間を決めて課題について質問する機会を設けたりするなど、休校等の期間や子どもの発達段階、家庭の状況を踏まえた活用を図っている。

◆子育て支援について

質問 給食費未納問題について、不公平感をなくすため、支払った方の住民税に対し、給食費全額控除できないか。

教育長 国の地方税法により、給食費を所得控除または税額控除することは法律上できない制度となっている。

質問 「受益者負担」の思いはあるが、子育て支援の観点から、県内の大きな自治体でまだやっていない給食費無償化に踏み切ってはいかがか。令和2年度決算で市たばこ税が5億5千万円入っている。それを充当していると言えば喫煙者にも納得してもらえるのではないか。

教育長 学校給食費は学校給食法に基づき、食材費相当分を保護者からご負担いただいている。また、生活困窮世帯等への給食費免除を実施しており、一定の支援策を講じているものと認識している。

質問 全額控除ができないのであれば、2分の1補助を検討してほしい。

市長 全庁挙げての子育て支援制度等検討会議において、子育て支援の最適化、持続可能な財源確保などの観点も含めて検討していきたい。



金谷 道男 議員
(大地の会)



Q 水田活用交付金事業
見直し内容は

A 水田の畑地化とブロック
ローテーションを目指す方針

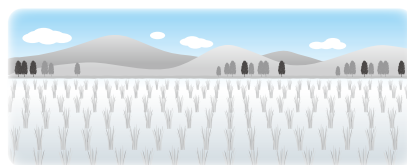
質問 水田活用の直接支払交付金事業の見直しで5年間水稲作付けしない水田を事業対象から除外するとの説明が国、県からあったのか、また、農業者へ周知はどうしたのか。併せて周知後の農業者の反応と今後の大仙市農業への影響と課題をどう捉えているのか。

農林部長 転作作物が固定化している水田の畑地化と、水稲と転作作物とのブロックローテーションの再構築のため、今後5年間に1度も水稲作付けしない農地を令和9年度以降、交付金対象水田としない国の方針説明が県からあった。また、東北農政局からは説明と現場の課題を検証するため、農業者の意見取りまとめ依頼もあった。農業者へ

は、「経営所得安定対策等のしおり」で周知した。農業者からは、水田農業の将来を不安視する声が多く寄せられた。

今後の影響は、水稲作付けへの転換は、土づくり、排水対策から保水対策へ変換、水利施設の整備など農業者の労力的な負担増、収量・収益性の低下が懸念される。また、園芸メガ団地はハウスの大規模な移設を要するなど、水稲への転換は非現実的である。このように農業者の経営収支の悪化、担い手の農地集積の停滞、耕作放棄地の増大など総じて悪循環に陥り、影響は多方面に及ぶと考える。

市では県市長会を通じ、国に是正を要望するとともに、見直しが生産現場の意を酌むことなく実施された場合、農業者はもとより農業を基幹とする本市にとって大きな問題であり、今後も国の動向を注視しながら対応していく。



安達 成年 議員
(大地の会)



Q 首都圏での観光PRは

A 新たな資源の開発や素材を磨き
上げ、PR活動を進めていく

質問 この1年間、どのような文化財を活用した観光PRを首都圏で行ったのか。

観光文化スポーツ部長 新型コロナウイルス感染の収束が見通せず、PRが困難な状況だったので、テレビ地上波放送、SNSへの広告に挑戦し、本市特産品売りに効果が得られた。今後は文化財を含めた新たな資源の開発や大仙市の素材を磨き上げ、PR活動を進めていく。

質問 コミュニティスクール（学校運営協議会制度）とは何なのか。また、学校再編と関連するのか、全区へ導入するのか。

教育長 地域の方々の知識や経験を学校運営に生かす取り組みで、学校再編とは関連なく、地域で子どもを育てることを目的としている。将来的には市内全小・中学校への導入を目指す。

◆河川の河床整正・浚渫^{しゅんせつ}について

質問 太田地域内の県管理河川の今年度の河床整備計画は。また、斉内川桜並木の環境保全の継続を望む。

建設部長 仙北地域振興局によると、川口川300メートルの700万円、斉内川下流部500メートルの1,000万円の内示があった。重要性は認識しているので、今後も整備を強く働き掛けていく。また、植樹した桜並木の保存を図るため、管理状況の把握と業務委託料の確保に努める。





挽野 利恵 議員
(公明党)



Q 男性トイレへサニタリーボックスを設置できないか

A 設置されていない施設に順次設置していく

質問 病気等によって尿漏れパッドを利用する方、トランスジェンダーの方、おむつ替えをするパパのために、男性トイレにサニタリーボックスを設置すべきではないか。

総務部長 個室トイレにサニタリーボックスがあれば、使用済みの尿取りパッドを持ち帰らずに廃棄し、安心して外出することができる。病気をお持ちの方やご高齢の方などに快適な社会生活を送っていただけるよう、公共施設の環境整備について、きめ細かな配慮が必要であると考えている。

市内公共施設等108カ所の調査をしたところ、男性も利用できる、いわゆる「みんなのトイレ」でサニタリーボックスが設置されていたのは57施設、男性用トイレの個室に設置されていたのは2施設であった。

今後、サニタリーボックスが設置されていない

施設について、設置場所などを調査し、順次、設置していく。

◆エンディングノートについて

質問 エンディングノートを作成し、配布しては。

今野副市長 令和3年度作成の「健康おうえん手帳」においてエンディングノートの要素を含んでおり、本人が大切にしていることや、もしもの時、どうしてももらいたいか等を簡潔に記載でき、希望する約820名の方に配布し、今年度も増刷を予定している。

手帳は、各高齢者包括支援センター窓口において無料で配布され、市のホームページからのダウンロードも可能となっており、高齢者に限らず、どなたでもお使いいただける。

質問 相続人、相続財産管理人がいない場合、エンディングノートには、空き家になることを防ぐ役割も期待されているが。

今野副市長 手帳には、現在、資産管理の取り扱いに関する項目は含まれていないが、今年度、内容の見直しを行う計画であり、空き家の管理や財産管理等について、記載項目を追加の方向で検討する。



山谷 喜元 議員
(大地の会)



Q 漬物等の加工施設への支援を充実すべき

A 漬物製造支援を新規事業として取り組んでいる

質問 食品衛生法の改正に伴い、漬物の製造・販売には、製造場所の改修等が必要となる。これに伴う県の支援もあるようだが、県支援に加えて、市の支援もきめ細かく行うべきでは。

市長 農業者、農業者が組織する団体等を対象に、法改正に対応した施設や機械導入に係る費用に対し、補助上限を1,000万円とし、補助率3分の1、市の協調助成6分の1と合わせて、事業費の2分の1を補助する漬物製造支援を新規事業として立ち上げている。また、市では、単独事業の農業6次産業化推進事業において、農業者、農業法人、自らが加工した商品を販売する農産物直売所の運営組織に対し、事業費の3分の1を支援している。引き続き、農業者が漬物製造に取り組めるよう環

境整備に努めていく。

◆環境に優しい低コスト化農業の推進について

質問 市内にはもみ殻ボイラーの利用や、アンモニアを燃料とする発電を利用したゼロエミッション農業を目指すような取り組みが見られるが、SDGs推進の観点からもその成果に注目し、必要に応じて地域に広めていくべきでは。

市長 本市での実証事業は、農業生産現場における二酸化炭素排出量の削減に加え、施設園芸作物の品質の安定化や収量の増加を検証するものであり、本市のような積雪寒冷地での周年農業の実践により、雇用の創出、災害時等の非常電源としても活用できる極めて有益性の高い取り組みである。農業分野での脱炭素はもとより、国産農産物の生産拡大、コストの低減につながる有望な取り組みとして期待しており、今後、安定したサプライチェーンが確立され、低価格のカーボンフリー燃料を使った環境に優しい低コスト化農業の実現に向け、引き続き、関係機関と連携していく。



佐藤 文子 議員

(日本共産党)



Q 栈敷席縮小で「大曲の花火」の醍醐味は失せないか

A 今回の結果を踏まえ、次回からの観客席の在り方を検討する

質問 この上ないスケールの大きな花火の美しさとともに、「腹の底が震える音」といわれる臨場感をもたらす栈敷は、長時間でもくつろぎとでもなしの場でもある。栈敷だからこそその醍醐味が「大曲の花火」であり、日本一の花火と言わしめていると考える。花火出品業者宿泊施設建設で栈敷を縮小することのことが、「大曲の花火」の醍醐味が失せてしまわないか心配している。なぜ縮小する必要があるのであるのか真意を伺う。

経済産業部長 水害への対応が迅速かつ容易になり、常に増水などリスクにさらされる河川敷会場に適した観覧席と考える。今回（第94回全国花火競技大会）の結果を踏まえ、次回からの観覧席の在り方を検討するとしている。

質問 栈敷席縮小の一方で、席料を大幅に上げ、その事業収入での施設建設を見込んでいるが、天

候などにも左右される水物であるだけに、長期の事業計画は持ちにくいものとする。「一切、商工会議所会員や市に対し負担を求めることはない」とする、花火振興特別会計は本当に可能なのか不思議だが、そう言える根拠について伺う。

経済産業部長 建設事業を含む特別会計は収入の面だけでなく、経費の削減を視野に入れ、持続可能な収支計画として作成されたものであり、金融機関における融資の審査においても実効性があると判断されたことと考える。

質問 観客からの高い入場料収入で施設をつくることに「大曲の花火」が営利目的になっているとの声があるが、商工会議所法に定める「営利を目的としてはならない」(※1)「特定の個人または法人その他の団体の利益を目的として、その事業を行ってはならない」(※2)とする原則に反すると考えるがどうか。

経済産業部長 上部団体である日本商工会議所からも、民業を圧迫しないのであれば、事業を積極的に進めていただきたいとの話があったと伺っている。

※1 総則第1章第4条（原則）の第1項

※2 同条第2項

市政懇談会を開催しました

6月23日～24日、26日～29日の6日間、大仙市議会「市政懇談会」を3年ぶりに開催しました。議員が5班編成で市内11カ所に出向き、議会の活動状況や令和4年度予算について報告し、市民の皆さまからは、たくさんのご意見・ご提言をいただきました。

また、6月26日の午後からは、初の開催となる「オンライン市政懇談会」を広報広聴常任委員会の委員が中心となり実施し、2名の市民の方にご参加いただき、オンライン上での意見交換を行いました。

今後もオンラインでの実施を検討するに当たり、今回の周知方法や開催方法についての見直しを行い、市民の皆さまがより参加しやすいものとなるよう改善してまいります。

市政懇談会の詳細については、後日、市議会だより第70号でお知らせいたします。

市政懇談会への出席者数

開催日	場 所	人数
6月23日(木)	角間川公民館	5人
	中仙農村環境改善センター	1人
6月24日(金)	協和支所	27人
	西仙北支所	22人
6月26日(日)	花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」	14人
	オンライン(ビデオ会議アプリ「Zoom(ズーム)」)	2人
6月27日(月)	さくまる館	3人
	おおたコミュニティプラザ	13人
6月28日(火)	神岡福祉センター	14人
	南外コミュニティセンター	45人
6月29日(水)	四ツ屋公民館	8人
	内小友公民館	1人
計		155人



市政懇談会の様子（オンライン）

教育厚生常任委員会の 審査のあらまし

補正予算案2件、陳情1件を審査し、次のような質疑がありました。

●令和4年度大仙市一般会計補正予算（第2号）

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業費（新型コロナウイルス対策）

【問】当初の見込み人数と実際の交付人数とに差があるが、その差が出た理由はなぜか。

【答】15歳以下は、児童手当の特例給付対象者で所得制限がかかっている方について、あらかじめこの見込み人数から除いていたが、16歳から18歳については、所得制限がかかる見込み人数を除くことなく、計上したことにより差が生じたものである。

公民館管理費

【問】サンクレスト大曲の消雪設備を更新するに当たり、平成21年に導入したポンプを13年で交換するのは早いような気がするが、その原因はなにか。

【答】ポンプの故障によるものではなく、消雪井戸自体が老朽化により崩壊し、つぶれてしまったことが原因であり、この消雪井戸のさく井工事に併せて、ポンプ本体も新たなものに交換する必要があるためである。

●令和4年度大仙市一般会計補正予算（第3号）

四ツ屋公民館改築事業費

【問】四ツ屋公民館を防災の拠点としての役割も担える施設に整備するが、防災の備品についても配置されるのか。

【答】防災拠点施設の備品として、発電機については、本工事の方で計画している。毛布等の施設に避難してきた際に必要となる備品に関しては、総合防災課と協議し、そろえていきたいと考えている。

◇陳情第8号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について」は、願意を妥当とし、採決の結果「採択すべきもの」と決しました。

総務企画常任委員会の 審査のあらまし

条例案2件、単行案1件、補正予算案2件、陳情1件を審査し、次のような質疑がありました。

●財産の取得について（消防用軽四輪駆動小型動力ポンプ付積載車）

【問】更新する積載車は、配備されてから何年経過したものか。

【答】今回更新する積載車は、いずれも20年以上経過しているものである。

【問】その車両は更新に当たって下取り、または廃棄されるのか。

【答】経年により、購入する業者からは車両として下取りしていただけないため、財産活用課を通じて、リサイクル業者から2万円程度で引き取ってもらうこととしている。

●大仙市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定について

【問】ふるさと納税を通じてウクライナ支援を行うに当たり、今後、ウクライナ以外の国から避難された方を支援することになった場合も、ふるさと納税による寄附金を活用するののか。

【答】条例改正により、紛争等で国外から本市に避難された方への支援にも、ふるさと納税を活用することは可能であると考えている。

●令和4年度大仙市一般会計補正予算（第3号）

ウクライナ避難民等支援事業費

【問】ウクライナから避難してきた方々への支援に、ふるさと納税による寄附金を活用することのことだが、寄附額が支援金の額を超えた場合、その超えた部分も支給するののか。

【答】原則として、1人につき1回、50万円を支払うこととしている。超えた額が集まった場合は、ふるさと応援基金に積み立てたい。

◇陳情第7号「国民の祝日『海の日』を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情」は、賛成・反対の両立場から討論があり、拳手による採決の結果、賛成多数により「採択すべきもの」と決しました。

主な議会のうごき

4月

- 1日 正副議長会議
議員全員協議会
- 12日 議会運営委員会
- 15日 第2回臨時会
広報広聴常任委員会
- 26日 議会改革推進会議

5月

- 9日 会派代表者会議
- 17日 議会運営委員会
- 24日 第2回定例会（第1日）
議員説明会
議員全員協議会
広報広聴常任委員会

6月

- 2日 第2回定例会（第2日）
議会運営委員会
- 3日 第2回定例会（第3日）
議員定数等検討会議
- 6日 各常任委員会審査
産業建設常任委員会協議会
総務企画常任委員会所管事務調査
- 7日 議会改革推進会議 研修会
- 10日 議会運営委員会
- 14日 第2回定例会（第4日）
広報広聴常任委員会
- 23日 市政懇談会（角間川地区・中仙地域）
- 24日 市政懇談会（協和地域・西仙北地域）
- 26日 市政懇談会（大曲地域・オンライン）
- 27日 市政懇談会（仙北地域・太田地域）
- 28日 市政懇談会（神岡地域・南外地域）
- 29日 市政懇談会（四ツ屋地区・内小友地区）



産業建設常任委員会の審査のあらまし

条例案1件、単行案4件、補正予算案4件を審査し、次のような質疑がありました。

●財産の取得について（除雪ドーザ（14t級））
【問】今回2台更新するようだが、累計運転時間や累計作業距離等に違いがみられる。建設部では、更新対象となる基準を定めているのか。

【答】基準としては、基本的には15年を超過した機械について更新を図ることとしているが、15年で全て使用できなくなるわけではないので、その中でも優先度をつけて更新している。地域により降雪量や除雪延長の違いがあるが、今回対象とした2台については、地域からの要望もあったため更新対象とした。

●令和4年度大仙市一般会計補正予算（第2号）
畜産業費補助金

【問】今回の畜舎整備に対する支援は、畜産振興プランの中で当初から想定していたものなのか。また、同じような条件の事業主体が出てくれば支援するのか。

【答】畜産振興プランでは、多様な畜産経営体を応援するという大きな方針がある。今回の大規模経営体の施設整備計画に対しては、企業型として誘致企業の制度に照らし合わせながら支援対象とした。中小規模経営体の施設改修も含め、同様に対応していく。

プレミアム付地域商品券発行事業費（新型コロナウイルス対策）

【問】換金回数等について、事業者から要望はなかったのか。

【答】得得飲食チケット事業の際、月2回では少ない、という意見をいただいております。今年度の実施事業は換金を月3回に増やしている。

【問】購入対象者は7月15日時点で住民登録している市民が対象のようだが、7月16日以降に住民登録した方は対象外なのか。

【答】現時点では対象としないと考えている。しかし、10月31日時点の販売状況によって、さまざまな対応を検討していきたいと考えている。

令和3年度政務活動費会派別収支状況

- 政務活動費は会派ごとに交付されており、交付額は1人当たり月額15,000円です。
- 収支の内容は毎年度議長に報告され、残額がある場合は市に返還することになっております。また、不足する場合は、不足分について自己負担としております。
- 令和3年度は、任期満了に伴う議員選挙があったため、前期・後期に分けて交付されております。
- 改選後の後期分は、新たに会派が結成された日が月の初日の場合はその月分から、月の途中の場合は翌月からの交付額となります。

詳しい収支状況については、市のホームページで公開しております。



【前期分 令和3年4月～9月】

(単位：円)

項目	会派名	だいせんの会 (7人)	大地の会 (6人)	新政会 (4人)	日本共産党 (2人)	市民クラブ (2人)	公明党 (2人)	創生会 (2人)
会派への交付額		630,000	540,000	360,000	180,000	180,000	180,000	180,000
支出額		0	260,452	0	116,162	0	180,000	0
内訳	調査研究費							
	研修費							
	広報費		260,452		116,162		12,100	
	広聴費							
	要請・陳情費							
	会議費							
	資料作成費						39,724	
	資料購入費							
その他の経費						128,176		
返還額		630,000	279,548	360,000	63,838	180,000	0	180,000

【後期分 令和3年10月～令和4年3月】

(単位：円)

項目	会派名	大地の会 (8人)	だいせんの会 (7人)	新政会 (5人)	公明党 (2人)	市民クラブ (1人)	日本共産党 (1人)
会派への交付額		720,000	630,000	450,000	180,000	90,000	90,000
支出額		347,266	5,313	0	180,000	0	0
内訳	調査研究費	21,340					
	研修費						
	広報費	313,736					
	広聴費						
	要請・陳情費						
	会議費						
	資料作成費	12,190	5,313		171,090		
	資料購入費				8,910		
その他の経費							
返還額		372,734	624,687	450,000	0	90,000	90,000

【政務活動費の項目解説】(支出のあったもの)

- ・ 調査研究費：市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- ・ 広報費：活動、市政について住民に報告するために要する経費
- ・ 資料作成費：活動に必要な資料の作成に要する経費
- ・ 資料購入費：活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
- ・ その他の経費：内訳に記載以外の経費で、調査研究・その他の活動に必要な諸費

議長交際費 (4月1日～6月30日)

項目	件数	金額
予算額		850,000円
支出額	10件	65,610円
内訳	弔慰	1件 10,000円
	慶祝	7件 46,500円
	協賛	2件 9,110円
予算残額		784,390円

9月定例会日程のお知らせ

- 8月18日(木) 本会議第1日(市政報告、会期の決定、議案等上程)
 30日(火) 本会議第2日(一般質問)
 31日(水) 本会議第3日(一般質問、議案質疑、委員会付託)

- 9月1日(木)・2日(金) 常任委員会審査
 5日(月)・6日(火)・7日(水) 常任委員会審査(決算)
 15日(木) 本会議第4日(委員長報告、質疑、討論、表決)

本会議及び委員会は公開されており、傍聴することができます。

- ※現時点での予定であり、変更される場合があります。
- 変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。
- ※9月定例会で審査される請願・陳情は、8月8日(月)まで提出されたものです。それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

総務企画常任委員会所管事務調査

6月6日（月）、フォーシーズン1階のコミュニティスペース「GATHER」を訪問し、新たに設置された「だいせんLabo」の取り組み状況を視察してまいりました。

「GATHER」は、株式会社グランドパレス川端がフォーシーズンの一部を改装し、令和4年3月にオープンした民間のレンタルオフィスです。施設には、サテライトオフィスや起業家向けの事務所として利用可能な24のレンタルスペースに加え、フリースペースやリモート室など、利用スタイルに応じた部屋が用意されております。5月末日時点では、レンタルスペース6部屋の利用を含め、延べ28名が利用しているとのことでした。

この施設内にある「だいせんLabo」は、商工団体や企業、金融機関など、さまざまな主体の連携のもと、夢の実現や起業を目指す若者、地域の課題解決・活性化に取り組もうとする若者に対し、さまざまな相談に応じながら総合的なサポートを行う拠点として4月22日に開設されております。オープン以降、「だいせんLabo」では、起業や法人立ち

上げの相談など、5月末日時点で延べ28名の皆さんからさまざまな相談を受け付けており、引き続き、周知と利用の促進を図りながら、多くの皆さんのサポートに努めたいとのことでした。

「Labo」とは「研究所」を意味し、「何かを生み出す場所」を想起する言葉です。多くの皆さんから「だいせんLabo」を利用いただくことで、大仙市に新たな活力が生み出されんことを期待しつつ、地域全体で若者のチャレンジを応援する環境づくりの必要性について、あらためて理解を深めた調査となりました。



若者チャレンジ推進室
新田室長より説明を受
ける

（総務企画常任委員会

委員長 橋村 誠 記）

議会改革推進会議で、オンライン模擬ミーティングを実施

議会改革推進会議では、かねてより検討したいとされていたオンライン会議の活用について検証を進めるべく、6月7日（火）に研修会を開催し、オンライン環境で「模擬ミーティング」を実践しました。

研修会の冒頭は合同で行い、タブレットを使用するのオンライン会議アプリの使用方法、会議中の画面操作等を確認しました。

一通り操作を確認した後は、各自、別室に分散し、実際のリモート会議を想定した「模擬ミーティング」を実施しました。

ミーティング内では、今後のオンライン化への意気込みや、リモート会議を実践した感想などについて、意見が交換されました。

模擬的ではありましたが、当市議会においてオンライン会議を実践するのは今回が初めてのことです。

参加した委員からも「手応えを感じた」との声が聞かれ、有意義な研修会となりました。



模擬ミーティングの様子

（議会改革推進会議

委員長 金谷道男 記）

いただいたご意見への回答

～ 皆さまからお寄せいただいたご意見をご紹介します（一部要約）～

合葬墓の設置について

Q. 大曲墓園に親族が借りている墓地がありますが、親族が亡くなり継承していける見込みがない状況です。市の担当の方に合葬墓や永代供養墓の相談をこれまで3回していますが、今のところ予定はないと回答をいただきました。将来、私に何かあれば無縁仏になるのは確実と思っています。

大曲墓園に合葬墓の設置をお願いします。 (大曲地域・年代不明)

A. 市では、大曲墓園の合葬墓設置について、令和2年度に市内寺院へ合葬墓の設置状況等についてアンケート調査を実施したほか、令和3年度は状況変化を把握するため、寺院や近隣の民間施設等へ聞き取りを行いました。

回答をいただいた寺院の約4割で既に合葬墓を設置しており、うち半数の寺院で檀家等にかかわらず諸事情のある方への対応も行っているとのことでありました。また、聞き取りにおいても、合葬墓の整備を進める意向の寺院等が増えてきております。

このような現状から、市では現在のところ、民間霊園や寺院等の合葬墓を活用していただきたいと考えております。 (担当課：生活環境課)

皆様の声をお寄せください

大仙市議会では、皆さまからの声を募集いたします。

募集期間

令和4年8月1日(月)～令和4年8月31日(水)

提出方法

次の①～③のいずれかの方法により提出してください。

様式の定めはありません。
ご自由に記載してください。

①郵送

・宛先：〒014-8601
大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて

②ファックス

・番号：0187-62-8822
(議会事務局専用)

③メール

・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

こちらのQRコードから
大仙市議会のお問い合わせページ
(大仙市ホームページの議会のページ)
にアクセスできます。



必要記載事項

- ・住所・氏名および年齢を必ず記載してください。
- ・郵送の場合は封筒の外側に、ファックスまたはメールの場合はタイトルに、「大仙市議会への声」と明記してください。

注1 いただいたご意見の要旨を、居住地、年代を示した上で、議会だよりやホームページで紹介させていただく場合があります。(掲載例)「大曲地域・40代」「中仙地域・50代」

注2 お電話による受け付けは行いませんので、ご了承ください。

注3 いただいたご意見は、大仙市議会への貴重な「声」として、プライバシーに配慮しながら、全議員へ回覧させていただきます。

市民の声

市役所の近くに住んでおりながら、市議会の本会議を傍聴したことがあります。

だいせん市議会だよりには、質問の本身と答えが掲載されております。何げなく暮らしておりますが、市政において、より良く改善していただけることを知ることができません。おかげさまで、穏やかに生活できるのです。

また、これからの生活に向けての声を募集しております。地球温暖化、環境の変化、少子高齢化の中を私たちは生きていかなければならないのですが、市民の切実な声に耳を傾けて下さる市議会の先生方がおられるということは、とても力強い限りであります。

コロナ禍の中で、自粛を余儀なくされていることがあります。収束した時には、今までできなかったことをしたいものと思います。

ウクライナから避難された方々をお迎えしております。共々に穏やかに生活したいものと思います。市議会の先生方、よろしくお願い申し上げます。

(大曲地域・80代男性)

鎌田正議員に 永年勤続者表彰

5月25日に開催された「全国市議会議長会第98回定期総会」で、鎌田正議員が在職25年以上の功勞により表彰され、第2回定例会4日目の本会議開議前に表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。



編集後記

庭のあでやかな花や草木が対話し、セミの鳴き声もにぎやかです。今年も暑い日が続いています。農家にとっては、田んぼの稲の生育状況が気になる所です。

第2回定例会で一般質問のあった「水田活用交付金事業の見直しについて」は、どこへ行っても農業者の間では死活問題だと不満と反対の声が大きく広がっています。食と農、国土と文化・経済を守る日本の農業を大切に守ってほしいものです。3年ぶりに開催した市政懇談会。11会場で155名の参加者から議会や行政に対する貴重なご意見・ご提案など数多くいただきました。

今後、幅広く市民の生の声を市政に反映するために、若者や女性の方々からも、もっと参加いただける環境づくりに工夫が必要かと思えました。この8月は大曲の花火。長引くコロナの収束と平和のため、世界に「希望と夢」を打ち上げていただきたいものです。

最後に、参議院議員選挙期間中の7月8日に、安倍晋三元首相が銃撃され死去される事件が起き、大変ショックを受けています。国内はもちろん、世界の偉大な指導者を失い、ただただ絶句するだけです。生前の安倍元首相の満面の笑顔、国民への思いの強さは忘れられません。ご冥福をお祈りいたします。

(委員 小笠原昌作)

広報広聴常任委員会

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 古谷 武美 | 委員 | 青柳 友哉 |
| 副委員長 | 挽野 利恵 | 委員 | 小笠原昌作 |
| 委員 | 戸嶋貴美子 | 委員 | 石塚 柏 |
| 委員 | 秩父 博樹 | 委員 | 渡邊 秀俊 |